

Camp Rising Sun

1. 活動時期 2025年7月26日～8月25日

中学3年 青木 心美

2. 活動の概要

ニューヨークの自然豊かなキャンプ場で、世界各地から集まった同性・同年代の約60名の学生(キャンパー)とともに1カ月間様々な活動を行う。午前中は掃除や皿洗い、鶏の餌やり、野菜の収穫、薪割りといった仕事をした後、プロジェクトといってそれぞれが希望したものに分かれて活動する。具体的にはベンチづくりや新聞作成、アルバム作成、壁に絵をかく、SNS用の動画を撮るなど。午後は参加者同士で出身国の文化や自分の特技などを教え合った。夜はみんなで社会的な課題について議論するなど真面目に考える活動もあれば、みんなで一つのアート作品を作ったり、時にダンスパーティーやショーをしたりし楽しんだ。また参加者全員にリーダーになる機会が与えられ、1日の流れや行事などはリーダーが企画や指揮をする。2泊3日で別の場所に移り、自分たちでテントを建て、火を起こして料理を作るといったサバイバルのようなこともした。

3. 感想

プロジェクトでは、同じグループの人と何か一つのものを作り上げる中で難しいこともあったが、助け合い協力し合いながらなんとか完成させることができた。新しい技術を身につけるとともに、コミュニケーションの大切さを学んだ。また互いの文化を教え合う際には、それぞれの文化にそれぞれの良さがあることを学び多様性の素晴らしさを実感した。自分は日本文化を伝えるために書道、折り紙の教室を開いたり、お好み焼きづくりをしたりした。何か人に教えるというのは教わる以上に難しいことなんだと痛感したが他の参加者が日本文化に興味を持ってくれた時は達成感も大きく印象に残っている。

1番大変だったことは、友達を作ることだった。小学生みたいな感想だと思う方もいるかもしれない。しかし、言語も生きてきた環境もそれぞれ全く違う中気を許して話せる人がなかなかできず、最初はこの場所で1カ月過ごしていけるのだろうかと不安でいっぱいだった。それでも勇気を持って積極的に話していくうちに自分を認めてくれる人、思ってくれる人がだんだん増えていき、親友もできた。言語や文化の壁があっても理解し合えるということがわかり、自分に自信が持てるようになった。

4. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

英語力は高いに越したことはないが、それよりもやる気や熱量の方が大切。多様性について理解を深めたい人、いろんな国の人と関わってみたい人、自然が好きな人におすすめです。

